

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	1	はつらつ・雄武	整理番号	14
基本施策	4	商工業の振興	評価責任者	産業振興課長 石井 弘道
単位施策	4	勤労者の就労環境の向上		

1 施策の概要

基本方針	就労対策における、就労環境の向上等を関係機関に働きかける。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	通年雇用が確保できない季節労働者を対象に冬期雇用対策を行っている。また広域的な通年雇用対策も行っている。	通年雇用が確保できない季節労働者を対象に冬期雇用対策を行っている。また広域的な通年雇用対策も行っている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	季節労働者の就労環境においては、一段と厳しい状況であり、通年雇用の促進増に至っていない。	季節労働者の就労環境においては、一段と厳しい状況であり、通年雇用の促進増につながる施策が必要である。また、高齢者や障がい者の雇用、子育て期の就労環境向上等、多様な対策も求められている。

2 基本施策指標

指標1	指標名	建設業就業者数						
	定義等	国勢調査による建設業就業者数						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	308人(H17)	（未調査）	267人	（未調査）	249人		300人
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	勤労者雇用促進事業	商工観光係	2,094	B	継続/現状維持	B
②	【再掲】町道等除草作業他環境保全事業	土木管理係	5,565	A	継続/現状維持	B
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	通年雇用を促進する上で、本施策は妥当と判断する。
② 有効性	B	関係機関との連携を進める事は、雇用環境の促進につながる事から有効と判断する。
③ 効率性	A	予算の有効活用及び事業費の削減、業務の効率化を図っている。
④ 公平性	A	本施策については、広く周知した中で実施しており、公平性が保たれていると判断している。
⑤ 町民意見の反映	B	町民の意見を聞く場は設けていないが、関係機関と連携しながら進めている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
本施策は一定の効果は上げているが、社会情勢を見ながら進める必要がある。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
雇用情勢は引き続き厳しい事から、今後においても継続していく必要がある。	同左	

\*今後の方向性の区分  
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更   
終了   
休止   
廃止